

岩屋中だより

令和5年12月22日 NO19

発行 長崎市立岩屋中学校

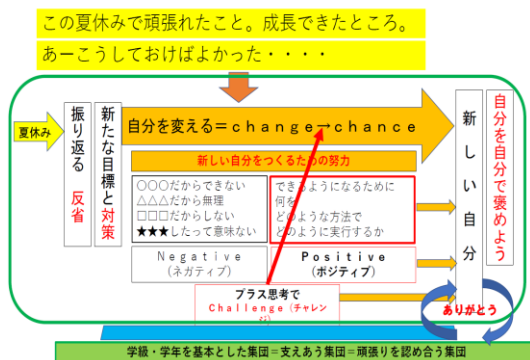
文責：校長 川口 猛

2学期の終業式＝自分を、自分たちを振り返る時

長かった2学期も本日で終わりです。2学期は、生徒の皆さんにとってどのような時間だったでしょうか？本日は終業式。時の流れの中で、節目に当たります。その節目で、自分を、そして自分たちをふりかえることは、大きな成長につながります。

本通信では、本日の終業式で使用したスライドを使いながら述べていくことにします。

2学期の始業式で、次のようなことを話しました。個人として、集団としてこのようにあってほしい姿を示しました。（小さくて見えにくいですが、WEBで見ていただくと少し見えやすいかもしれません。）



プラス思考で、ポジティブな気持ちで努力を継続
○新しい自分をつくるというチャレンジ
○新たな自分を見つけるチャンス
○ポジティブな努力であるチャレンジ

成長した自分を自分で褒めることができますか？

集団として学ぶ場になっているかどうか
○協力できる集団、支えあう集団
○笑顔になれる集団
○良い選手は良いチームの中で成長する
○互いにありがとうと言えるチーム

私たちが所属する集団を私たちは褒めることができますか？

スライドの2枚目、3枚目が始業式で示したことの要点です。できるようになるために、『何を、どのような方法で、どのように実行するか』をポジティブに考えることを示唆しました。プラス思考でチャレンジして、新しい自分に変えていく（チェンジ）そして新しい自分作られる好機（チャンス）ということをお話しました。2学期に達成できたでしょうか？

さて、頑張ろうと思っても、くじけてしまうし、きついし頑張るのは嫌だとか、人は誰しも、自分の成長を願って努力をすると壁にぶつかるものです。つまり、困難さを感じます。『難』が『有る』わけです。これを、別の形で表現すると『有』『難』『い』です。しかし、難が有るからこそ、私たちは成長できるので、『有』『難』『い』をひらがなにすると『ありがたい』です。つまり、難が有というのは、ありがたいこと、つまり、ありがたいに通じわけです。

これは、個人にだけいえることではなく、集団であっても同じことだと感じます。人権集会で話しましたが、私たちは、口からプラスの言葉とマイナスの言葉を発します。困難に出会うと、きっと、マイナスの言葉ばかりでることでしょう。しかし、そこでプラスの力が（プラスの言葉が）加われば、きっと新しい自分が『叶』えられるのだとも思うのです。2学期当初に触れた私たちの3つのC

OCHANCE

OCHANGE

OCHALLENGE

は、新しい自分や新しい集団へ向かうために課されたものであり、プラス思考で頑張るってしくこと、困難さにぶつかってもそれに感謝する気持ちで頑張れば、自己実現につながると感じます。

また、この終業式では、あと一つ伝えたいことを話しました。新しい自分づくりに向かう時、人は、悲しみ、悩み、不安を抱え、大丈夫だろうか。あーあ・・・とため息をついたりするものです。そのような心の状態を『憂（うれい）』と言います。『憂』を感じている人に、そっと寄り添うことができれば、その人の支えになります。この『憂』という漢字に左から寄り添うという意味で『人』という漢字を寄せたらどのような字になるでしょうか。『優』という字になるのです。他人の憂いを理解して寄り添う『優しい人』になってほしいと思います。ただ寄り添うだけが優しいではなく、こんなに出会い、そのつらさを知り、それを乗り越える大切さなど『厳しさ』を理解できる人でなければ、真に寄り添うことはできないとも言えます。

3年生の皆さん、希望する進路の実現に向けて努力を重ね、追い込みだと思えます。きついこともたくさんなるだろうし、悲しくなったり、気分が滅入ったりすることもあるでしょう。だからこそ、厳しさを体験する仲間同士で支えあい、寄り添って、この受験という大きな壁を全員の力で乗り越えてほしいと思います。受験は団体戦というのはこのことです。

また、各学年の成長したところを画面で確認する時間も取りました。各学年、一步一步成長を続け、新しい自分を、そして新しい集団（チームを）想像しつつあると感じています。（下記にスライドで示します。）

最後に、冬休みを迎えるにあたって、3つのお願いをいたしました。

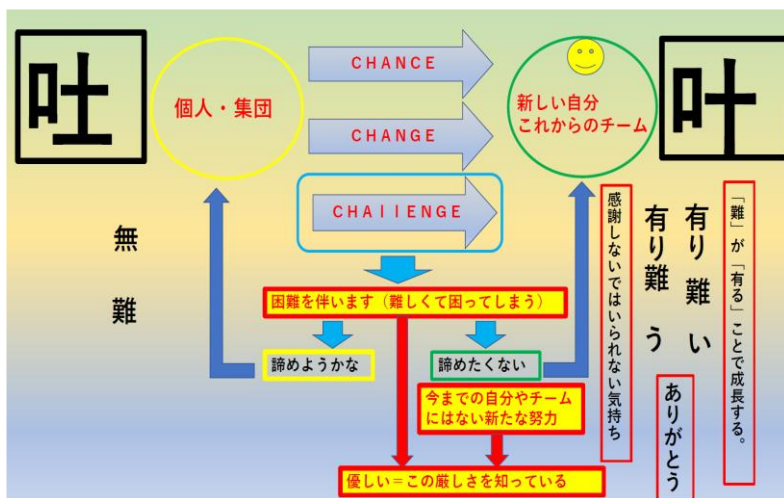
○冬休みだからこそできることを経験する。→家族の一員として、すすんで家のことを手伝う。

お正月という文化を味わう

○志をたてる→新しい自分の姿、これからの集団・チームの姿

○私たちの行動の判断基準→『楽しいか、楽しくないか』ではなく、『正しいか、正しくないか』

元気に3学期始業式で会いましょう！



1 年 生

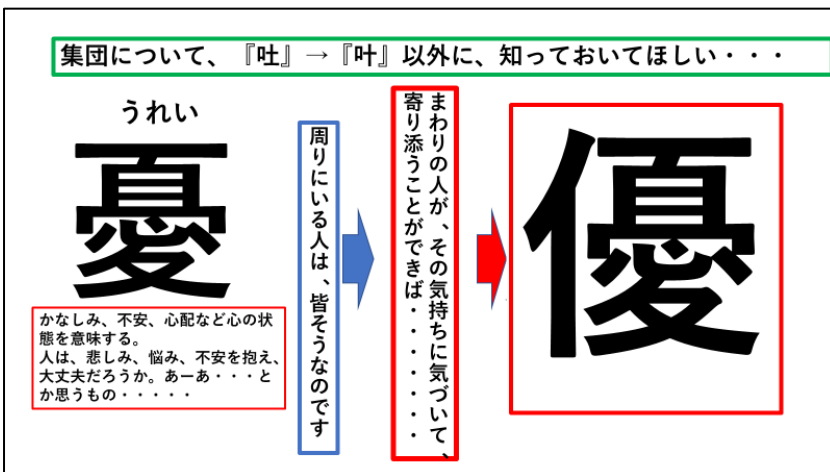
- 心身ともにたくましくなり、きついことを乗り越えて頑張ろうとするようになってきた
- 学級対抗で家庭学習定着に挑戦
- 合唱コンクールは、協力し合って一つのものを作り上げる大切さを体験
- 生徒会役員改選で学んだ協力性と先輩になる立場の理解
- 楽しみながら、協同的に学ぶ姿勢

2 年 生

- 実り、学びある修学旅行になったこと
- さすが2年生と思わせる先輩らしい合唱コンクールの歌声
- 「次は私たちの番だ」という決意を感じる生徒会役員改選（専門委員長等の選考も含めて）
- 凡事徹底の実践～スリッパ、ロッカー、掲示物、机～
- 学びあいや授業中の他者への助言（アドバイス）
- 部活動をけん引するリーダーシップ

3 年 生

- すべてが最後の行事。全力を尽くす姿は、さすが最上級生の3年生
- 合唱コンクールに向けての努力と、歌声は、素晴らしい一言
- 受験に向かって、追い込み
- 深く学びあった平和学習・人権学習
- 心温まる「ありがとうの木」
- 凡事徹底の実践～トイレのスリッパ、挨拶、机、下足のかかとを揃える
- 最後まで努力する生徒会役員
- 市中総体駅伝競走大会をけん引



※色等が紙ベースでは見えづらいと思いますので、学校ホームページからご覧くださいと見えやすいと思います。